

第18期

運用報告書(全体版)

新興国国債オープン (1年決算型) (愛称 アトラス(1年決算型))

【2025年8月12日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
皆様の「新興国国債オープン(1年決算型)(愛称アトラス(1年決算型))」は、2025年8月12日に第18期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

ホームページ <https://www.sbiokasan-am.co.jp>

■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

03-3516-1300 (受付時間: 営業日の9:00~17:00)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2007年8月30日から、原則として無期限です。	
運用方針	新興国国債マザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます。)を通じて、主としてJPモルガン社のGBI-EEM(ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット)ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等(以下、「新興国の国債等」といいます。)に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、投資環境の急変が起きた場合等には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	新興国国債マザーファンド	新興国の国債等を主要投資対象とします。
主な投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。
	新興国国債マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年8月12日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 委託会社が、分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ分配金額を決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース)		債組入比率	債券先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
14期(2021年8月12日)	9,153	100	4.2	269.446	7.9	84.5	—	539
15期(2022年8月12日)	9,813	100	8.3	281.919	4.6	95.7	—	60
16期(2023年8月14日)	11,352	100	16.7	333.059	18.1	90.5	—	83
17期(2024年8月13日)	11,795	100	4.8	354.410	6.4	92.3	—	88
18期(2025年8月12日)	12,909	100	10.3	391.704	10.5	93.7	—	54

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース) は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース) は、当該日前営業日のデータです。(以下同じ。)

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース) は、J.P.Morgan Securities Inc. が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P.Morgan Securities Inc. が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数で、2003年1月1日より算出されております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

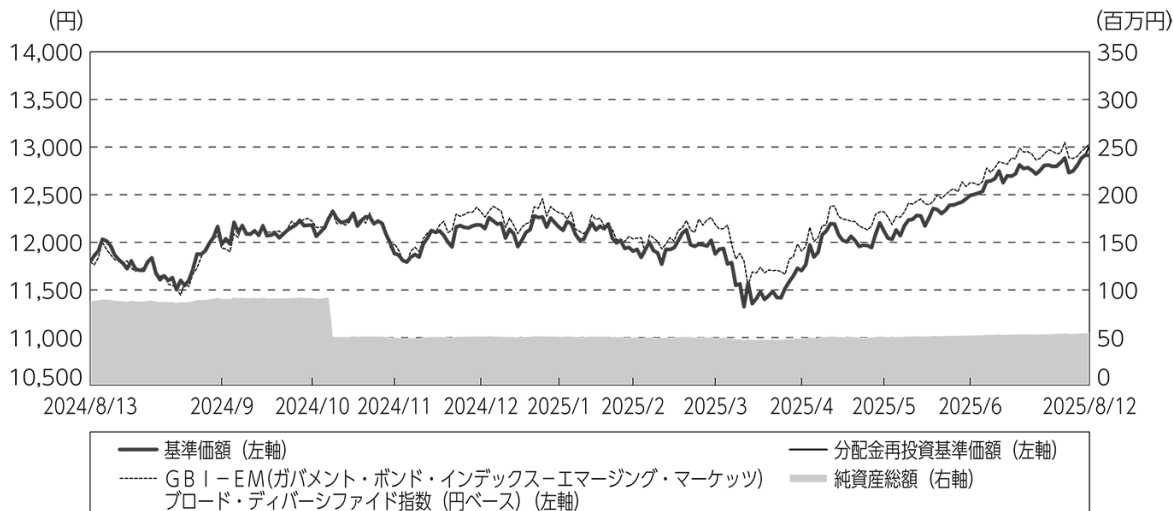
年月日	基準価額		GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース)		債組入比率	債券先物比率
	騰落率	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2024年8月13日	円	%	ポイント	%	%	%
	11,795	—	354.410	—	92.3	—
8月末	11,706	△ 0.8	352.795	△ 0.5	92.0	—
9月末	11,979	1.6	358.681	1.2	93.4	—
10月末	12,180	3.3	367.168	3.6	93.7	—
11月末	11,881	0.7	360.124	1.6	89.0	—
12月末	12,181	3.3	370.258	4.5	92.7	—
2025年1月末	12,159	3.1	369.877	4.4	92.2	—
2月末	11,908	1.0	361.642	2.0	92.1	—
3月末	11,878	0.7	366.211	3.3	91.1	—
4月末	11,703	△ 0.8	357.778	1.0	91.5	—
5月末	12,121	2.8	370.219	4.5	92.2	—
6月末	12,492	5.9	379.375	7.0	94.4	—
7月末	12,837	8.8	388.751	9.7	94.3	—
(期末) 2025年8月12日	13,009	10.3	391.704	10.5	93.7	—

(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2024年8月14日～2025年8月12日）



期首：11,795円

期末：12,909円（既払分配金（税引前）：100円）

騰落率：10.3%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、G B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）です。

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2024年8月13日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「新興国債マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・新興国債への投資により、安定的な利息収入を獲得したこと。
- ・南アフリカ、インドネシアなどの多くの投資国において、保有債券の利回りが低下し価格が上昇したこと。
- ・ポーランドズロチを筆頭にほとんどの投資通貨が対円で上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・トルコリラ、インドネシアルピアが対円で下落したこと。

投資環境

（2024年8月14日～2025年8月12日）

<新興国の国債市場>

新興国の国債市場では、米大統領選挙でのトランプ氏勝利を受け、米国債利回りが大幅に上昇（価格は下落）したことから、2024年末にかけて利回り上昇局面が続きました。しかし、2025年に入ると、多くの新興国が利下げを実施したことに加え、米国の関税政策がグローバル経済の減速につながるとの見方を背景に、利回り低下（価格は上昇）基調が鮮明となりました。このような環境下、当ファンドの参考指数（運用実績を評価するためのベンチマークではありません）であるJPモルガン社のGBI-EMブロード・ディバーシファイド指数の平均利回りは、前期末の6.29%から5.90%に低下して期末を迎えました。

<為替市場>

為替市場では、米大統領選挙でのトランプ氏勝利や、その後の関税政策をめぐる不透明感等を背景に、新興国通貨が対米ドル、対円で乱高下する展開となりました。2025年4月には、米国が貿易相手国への相互関税を発表したことを受け、新興国通貨が対円で一時急落しました。しかしその後、トランプ米大統領が通商面での強硬姿勢をやや緩和したことから、期末にかけては新興国通貨が対円で堅調に推移しました。当期間においては、ポーランドズロチやマレーシアリングgitが対円で2桁の上昇率を記録した一方、トルコリラが対円で30%以上急落するなど、通貨間のパフォーマンス格差が顕著となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2024年8月14日～2025年8月12日）

<新興国債オープン（1年決算型）（愛称 アトラス（1年決算型））>

「新興国債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、同受益証券の組入比率を概ね99%台と高位で推移させました。

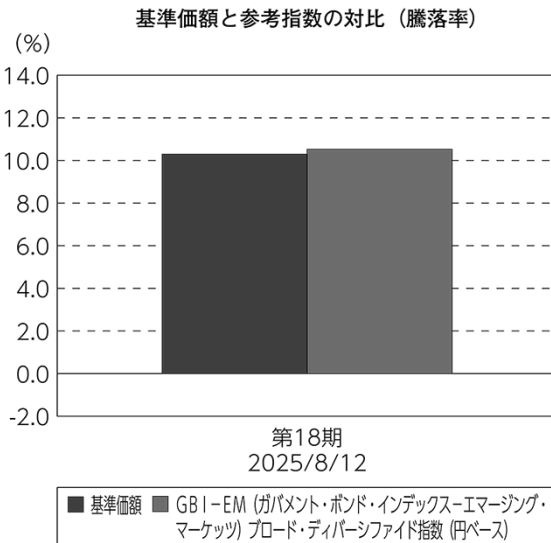
○新興国債マザーファンド

JPモルガン社のGBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国の中から、国債の利回り水準や流動性、国内総生産（GDP）、経常収支、外貨準備、インフレ率などのファンダメンタルズ等を総合的に判断し、投資国および投資通貨を選定しました。当期間においては、11カ国、11通貨（日本および円は除いています）に投資を行いました。当期間における新興国の国債および通貨の投資比率は、投資環境に応じて機動的に変化させました。期末時点の新興国債の投資比率は94.1%、外貨の投資比率は96.3%、投資国上位は、南アフリカ、ブラジル、メキシコとなっています。前期末からの主な変化は、メキシコやポーランドの投資比率が上昇する一方、ペルーやトルコの投資比率が低下しました。ファンドの金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションは、期末時点で4.67年となり、前期末と比較し長期化となりました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2024年8月14日～2025年8月12日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス-イマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）です。

分配金

（2024年8月14日～2025年8月12日）

当期の分配金につきましては、分配方針に則り、分配可能額、基準価額水準等を勘案して、以下のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第18期
	2024年8月14日～ 2025年8月12日
当期分配金	100
（対基準価額比率）	0.769%
当期の収益	100
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	9,385

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

新興国の国債市場では、米国の関税政策に対する不透明感が残るものの、多くの国が緩和的な金融政策を維持すると予想されることから、引き続き利回りが低下しやすい局面にあると考えています。また、米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げ再開が視野に入るなか、相対的に利回り水準の高い新興国の国債市場への資金流入が継続する可能性が高く、市場の下支えになると見えています。

為替市場では、トランプ米政権の対外強硬姿勢が中長期的な米ドル安につながるとの懸念が台頭しつつあります。ただし、緩やかな米ドル安は新興国への投資資金の流入を促進する要因となるため、新興国通貨にとっては追い風になると考えています。一方、日銀は利上げ路線を維持しているものの、政策金利がインフレ率を大幅に下回る環境は当面続くと予想されることから、円高圧力は引き続き限定的にとどまると判断しています。

（運用方針）

<新興国国債オープン（1年決算型）（愛称 アトラス（1年決算型））>

主要投資対象である「新興国国債マザーファンド」の受益証券の組入比率は概ね99%台の高位を維持する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

○新興国国債マザーファンド

新興国の国債および通貨の組入れを高位に維持することを基本とします。ただ、市況動向によっては、ポートフォリオの一部を先進国の国債（米国、ドイツ、日本）や円のコール・ローン等へシフトする場合があります。また、投資環境の変化に応じてファンド全体の金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスクのコントロールを図る方針ですが、投資環境の急変が起きた場合には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。

ロシア国債に関しては、2022年4月以降、当ファンドが投資対象としているJPモルガン社のGBI-EMブロード・ディバーシファイド指数の構成国から除外されています。現在は外国人投資家による売買および受渡しのための決済が事実上停止されている状況ですが、今後、売買および決済が可能となった際には速やかに売却する方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

（2024年8月14日～2025年8月12日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	172	1.426	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 82 ）	（ 0.680 ）	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 80 ）	（ 0.658 ）	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 11 ）	（ 0.088 ）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	9	0.071	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	（ 7 ）	（ 0.057 ）	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	（ 2 ）	（ 0.013 ）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	（ 0 ）	（ 0.001 ）	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	181	1.497	
期中の平均基準価額は、12,085円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

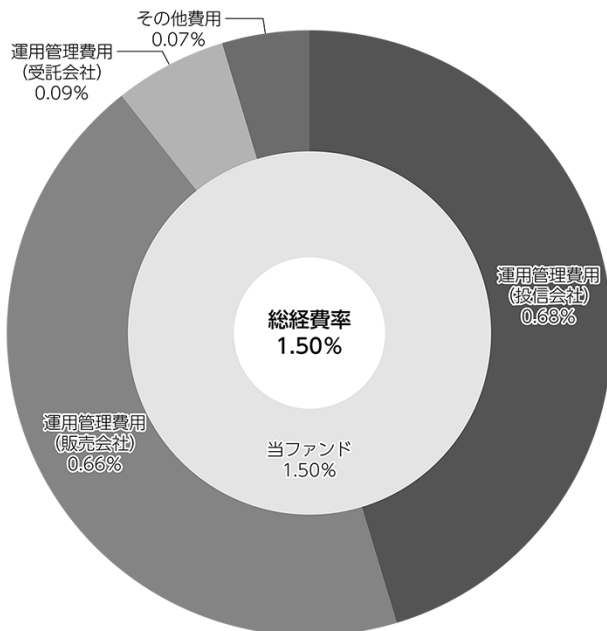
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.50%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2024年8月14日～2025年8月12日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
新興国債マザーファンド	千口 1,406	千円 2,576	千口 23,692	千円 42,925

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2024年8月14日～2025年8月12日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2025年8月12日現在）

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
新興国債マザーファンド	千口 50,422	千口 28,136	千円 54,642

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2025年8月12日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
新興国債マザーファンド	千円 54,642	% 98.1
コール・ローン等、その他	1,061	1.9
投資信託財産総額	55,703	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

（注）新興国債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（3,415,368千円）の投資信託財産総額（3,546,204千円）に対する比率は96.3%です。

（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1メキシコペソ=7.9519円、1ブラジルリアル=27.2659円、1ペルーソル=41.9992円、1トルコリラ=3.6485円、1ポーランドズロチ=40.51円、1ロシアルーブル=1.87円、1マレーシアリングgit=35.0262円、1タイバーツ=4.58円、1インドネシアルピア=0.0092円、1南アフリカランド=8.37円、1オフショア元=20.6307円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年8月12日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	55,703,308
コール・ローン等	1,060,336
新興国債マザーファンド(評価額)	54,642,960
未収利息	12
(B) 負債	787,917
未払収益分配金	425,416
未払解約金	653
未払信託報酬	358,587
その他未払費用	3,261
(C) 純資産総額(A-B)	54,915,391
元本	42,541,658
次期繰越損益金	12,373,733
(D) 受益権総口数	42,541,658口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,909円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.2909円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は74,625,669円、期中追加設定元本額は2,907,966円、期中一部解約元本額は34,991,977円です。

○損益の状況（2024年8月14日～2025年8月12日）

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	1,684
受取利息	1,684
(B) 有価証券売買損益	5,833,901
売買益	7,370,626
売買損	△ 1,536,725
(C) 信託報酬等	△ 864,755
(D) 当期損益金(A+B+C)	4,970,830
(E) 前期繰越損益金	5,650,348
(F) 追加信託差損益金	2,177,971
(配当等相当額)	(29,719,649)
(売買損益相当額)	(△27,541,678)
(G) 計(D+E+F)	12,799,149
(H) 収益分配金	△ 425,416
次期繰越損益金(G+H)	12,373,733
追加信託差損益金	2,177,971
(配当等相当額)	(29,729,878)
(売買損益相当額)	(△27,551,907)
分配準備積立金	10,195,762

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第18期
(a) 配当等収益(費用控除後)	3,346,150円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	650,074円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	29,729,878円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	6,624,954円
分配対象収益(a+b+c+d)	40,351,056円
分配対象収益(1万口当たり)	9,485円
分配金額	425,416円
分配金額(1万口当たり)	100円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	100円
支払開始日	2025年8月18日(月)までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

〈お知らせ〉

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の記載変更を行いました。（実施日：2025年4月1日）
2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

新興国債マザーファンド
第18期 運用状況のご報告
決算日：2025年8月12日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてJPMorgan社のGBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等（以下、「新興国の国債等」といいます。）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	新興国の国債等を主要投資対象とします。
主な投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース)		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	期騰落	中率	(参考指数)	期騰落中率			
	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
14期(2021年8月12日)	12,841	5.7	269.446	7.9	85.0	—	4,820
15期(2022年8月12日)	13,883	8.1	281.919	4.6	96.1	—	3,844
16期(2023年8月14日)	16,335	17.7	333.059	18.1	91.0	—	3,828
17期(2024年8月13日)	17,374	6.4	354.410	6.4	92.7	—	3,563
18期(2025年8月12日)	19,421	11.8	391.704	10.5	94.1	—	3,546

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) は、当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) は、当該日前営業日のデータです。(以下同じ。)

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) は、J.P.Morgan Securities Inc. が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P.Morgan Securities Inc. が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数で、2003年1月1日より算出されております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

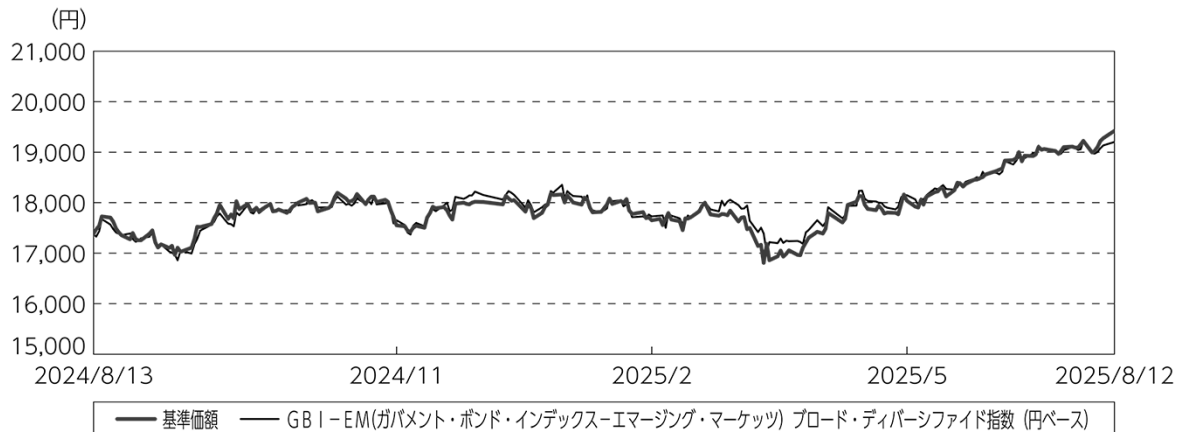
年 月 日	基 準 価 額		G B I - E M (ガバメント・ボンド・インデックスー エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期 首) 2024年 8月13日	円 17,374	% —	ポイント 354.410	% —	% 92.7	% —
8月末	17,255	△ 0.7	352.795	△ 0.5	92.4	—
9月末	17,682	1.8	358.681	1.2	93.9	—
10月末	18,002	3.6	367.168	3.6	94.1	—
11月末	17,550	1.0	360.124	1.6	89.6	—
12月末	18,016	3.7	370.258	4.5	93.2	—
2025年 1月末	18,006	3.6	369.877	4.4	92.5	—
2月末	17,653	1.6	361.642	2.0	92.5	—
3月末	17,629	1.5	366.211	3.3	91.4	—
4月末	17,390	0.1	357.778	1.0	91.9	—
5月末	18,036	3.8	370.219	4.5	92.6	—
6月末	18,612	7.1	379.375	7.0	94.7	—
7月末	19,152	10.2	388.751	9.7	94.8	—
(期 末) 2025年 8月12日	19,421	11.8	391.704	10.5	94.1	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2024年8月14日～2025年8月12日)



(注) 参考指数は、GB I-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) です。

(注) 参考指数は、期首 (2024年8月13日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・新興国債への投資により、安定的な利息収入を獲得したこと。
- ・南アフリカ、インドネシアなどの多くの投資国において、保有債券の利回りが低下し価格が上昇したこと。
- ・ポーランドズロチを筆頭にほとんどの投資通貨が対円で上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・トルコリラ、インドネシアルピアが対円で下落したこと。

投資環境

(2024年8月14日～2025年8月12日)

＜新興国の国債市場＞

新興国の国債市場では、米大統領選挙でのトランプ氏勝利を受け、米国債利回りが大幅に上昇（価格は下落）したことから、2024年末にかけて利回り上昇局面が続きました。しかし、2025年に入ると、多くの新興国が利下げを実施したことに加え、米国の関税政策がグローバル経済の減速につながるとの見方を背景に、利回り低下（価格は上昇）基調が鮮明となりました。このような環境下、当ファンドの参考指数（運用実績を評価するためのベンチマークではありません）である J P モルガン社の G B I - E M ブロード・ディバーシファイド指数の平均利回りは、前期末の 6.29% から 5.90% に低下して期末を迎えました。

＜為替市場＞

為替市場では、米大統領選挙でのトランプ氏勝利や、その後の関税政策をめぐる不透明感等を背景に、新興国通貨が対米ドル、対円で乱高下する展開となりました。2025年4月には、米国が貿易相手国への相互関税を発表したことを受け、新興国通貨が対円で一時急落しました。しかしその後、トランプ米大統領が通商面での強硬姿勢をやや緩和したことから、期末にかけては新興国通貨が対円で堅調に推移しました。当作成期間においては、ポーランドズロチやマレーシアリングgit が対円で2桁の上昇率を記録した一方、トルコリラが対円で30%以上急落するなど、通貨間のパフォーマンス格差が顕著となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2024年8月14日～2025年8月12日)

J P モルガン社の G B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国の中から、国債の利回り水準や流動性、国内総生産（GDP）、経常収支、外貨準備、インフレ率などのファンダメンタルズ等を総合的に判断し、投資国および投資通貨を選定しました。当期間においては、11ヶ国、11通貨（日本および円は除いています）に投資を行いました。当期間における新興国の国債および通貨の投資比率は、投資環境に応じて機動的に変化させました。期末時点の新興国国債の投資比率は94.1%、外貨の投資比率は96.3%、投資国上位は、南アフリカ、ブラジル、メキシコとなっています。前期末からの主な変化は、メキシコやポーランドの投資比率が上昇する一方、ペルーやトルコの投資比率が低下しました。ファンドの金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションは、期末時点で4.67年となり、前期末と比較し長期化となりました。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

新興国の国債市場では、米国の関税政策に対する不透明感が残るものの、多くの国が緩和的な金融政策を維持すると予想されることから、引き続き利回りが低下しやすい局面にあると考えています。また、米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げ再開が視野に入るなか、相対的に利回り水準の高い新興国の国債市場への資金流入が継続する可能性が高く、市場の下支えになると見えています。

為替市場では、トランプ米政権の対外強硬姿勢が中長期的な米ドル安につながるとの懸念が台頭しつつあります。ただし、緩やかな米ドル安は新興国への投資資金の流入を促進する要因となるため、新興国通貨にとっては追い風になると考えています。一方、日銀は利上げ路線を維持しているものの、政策金利がインフレ率を大幅に下回る環境は当面続くと考えられることから、円高圧力は引き続き限定的にとどまると判断しています。

（運用方針）

新興国の国債および通貨の組入れを高位に維持することを基本とします。ただ、市況動向によっては、ポートフォリオの一部を先進国の国債（米国、ドイツ、日本）や円のコール・ローン等へシフトする場合があります。また、投資環境の変化に応じてファンド全体の金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスクのコントロールを図る方針ですが、投資環境の急変が起きた場合には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。

ロシア国債に関しては、2022年4月以降、当ファンドが投資対象としている J P モルガン社の G B I - E M ブロード・ディバーシファイド指数の構成国から除外されています。現在は外国人投資家による売買および受渡しのための決済が事実上停止されている状況ですが、今後、売買および決済が可能となった際には速やかに売却する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年8月14日～2025年8月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 10	% 0.058	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(10)	(0.057)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	10	0.058	
期中の平均基準価額は、17,915円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2024年8月14日～2025年8月12日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 43,002	千メキシコペソ 23,523
	ブラジル	国債証券	千ブラジルレアル 13,234	千ブラジルレアル 12,199
	ペルー	国債証券	千ペルーソル -	千ペルーソル 4,225
	トルコ	国債証券	千トルコリラ 23,178	千トルコリラ 36,999
	ポーランド	国債証券	千ポーランドズロチ 3,740	千ポーランドズロチ 526
国	マレーシア	国債証券	千マレーシアリンギット 1,916	千マレーシアリンギット 2,609 (2,000)
	インドネシア	国債証券	千インドネシアルピア -	千インドネシアルピア - (4,000,000)
	南アフリカ	国債証券	千南アフリカランド 8,885	千南アフリカランド 13,433

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2024年8月14日～2025年8月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年8月12日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
メキシコ	千メキシコペソ 63,000	千メキシコペソ 58,549	千円 465,583	% 13.1	% —	% 11.3	% 1.8	% —
ブラジル	千ブラジルレアル 20,900	千ブラジルレアル 17,526	477,862	13.5	13.5	12.4	—	1.1
ペルー	千ペルーソル 5,201	千ペルーソル 5,722	240,349	6.8	—	6.8	—	—
トルコ	千トルコリラ 24,000	千トルコリラ 22,624	82,546	2.3	2.3	—	2.3	—
ポーランド	千ポーランドズロチ 10,200	千ポーランドズロチ 10,744	435,271	12.3	—	12.3	—	—
ロシア	千ロシアルーブル 165,000	千ロシアルーブル 0.00016	0.0002992	0.0	0.0	—	0.0	—
マレーシア	千マレーシアリンギット 9,000	千マレーシアリンギット 9,497	332,673	9.4	—	4.3	5.1	—
タイ	千タイバーツ 45,000	千タイバーツ 45,505	208,414	5.9	—	—	—	5.9
インドネシア	千インドネシアルピア 44,000,000	千インドネシアルピア 47,610,680	438,018	12.4	—	12.4	—	—
南アフリカ	千南アフリカランド 60,000	千南アフリカランド 57,640	482,446	13.6	13.6	13.6	—	—
中国オフショア	千オフショア元 8,000	千オフショア元 8,487	175,108	4.9	—	—	4.9	—
合 計	—	—	3,338,274	94.1	—	73.0	14.1	7.0

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) B B格以下組入比率には、無格付を含みます。

新興国国債マザーファンド

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	額面金額	期 末		償還年月日	
				評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
メキシコ		%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円		
	国債証券	MEXICAN BONOS 7.5	7.5	24,000	22,074	175,532	2033/5/26
		MEXICAN BONOS 7.75	7.75	31,000	28,486	226,519	2034/11/23
		MEXICAN BONOS 8.5	8.5	8,000	7,989	63,531	2030/2/28
小	計					465,583	
ブラジル			千ブラジルレアル	千ブラジルレアル			
	国債証券	BRAZIL NTN-F 10	10.0	3,000	2,558	69,758	2033/1/1
		BRAZIL NTN-F 10	10.0	16,400	13,547	369,395	2035/1/1
		BRAZIL-LTN 0	—	1,500	1,419	38,708	2026/1/1
小	計					477,862	
ペルー			千ペルーソル	千ペルーソル			
	国債証券	PERU B SOBERANO 7.3	7.3	5,201	5,722	240,349	2033/8/12
小	計					240,349	
トルコ			千トルコリラ	千トルコリラ			
	国債証券	TURKIYE GOV BOND 31.08	31.08	24,000	22,624	82,546	2028/11/8
小	計					82,546	
ポーランド			千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ			
	国債証券	POLAND GOVT BOND 6	6.0	10,200	10,744	435,271	2033/10/25
小	計					435,271	
ロシア			千ロシアルーブル	千ロシアルーブル			
	国債証券	RUSSIA-OFZ 7.05	0.0	165,000	0.00016	0.0002992	2028/1/19
小	計					0.0002992	
マレーシア			千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット			
	国債証券	MALAYSIA GOVT 3.885	3.885	5,000	5,141	180,069	2029/8/15
		MALAYSIA GOVT 4.642	4.642	4,000	4,356	152,603	2033/11/7
小	計					332,673	
タイ			千タイバーツ	千タイバーツ			
	国債証券	THAILAND GOVT 2.125	2.125	45,000	45,505	208,414	2026/12/17
小	計					208,414	
インドネシア			千インドネシアルピア	千インドネシアルピア			
	国債証券	INDONESIA GOV'T 7	7.0	24,000,000	25,001,280	230,011	2030/9/15
		INDONESIA GOV'T 8.25	8.25	20,000,000	22,609,400	208,006	2036/5/15
小	計					438,018	
南アフリカ			千南アフリカランド	千南アフリカランド			
	国債証券	REP SOUTH AFRICA 8.25	8.25	32,000	31,024	259,673	2032/3/31
		REP SOUTH AFRICA 8.875	8.875	28,000	26,615	222,773	2035/2/28
小	計					482,446	
中国オフショア			千オフショア元	千オフショア元			
	国債証券	CHINA GOVT BOND 3.82	3.82	8,000	8,487	175,108	2027/11/2
小	計					175,108	
合	計					3,338,274	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(注) 利率は、期末における利率です。

○投資信託財産の構成

(2025年8月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	3,338,274	94.1
コール・ローン等、その他	207,930	5.9
投資信託財産総額	3,546,204	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(3,415,368千円)の投資信託財産総額(3,546,204千円)に対する比率は96.3%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1メキシコペソ=7.9519円、1ブラジルレアル=27.2659円、1ペルーソル=41.9992円、1トルコリラ=3.6485円、1ポーランドズロチ=40.51円、1ロシアルーブル=1.87円、1マレーシアリンギット=35.0262円、1タイバーツ=4.58円、1インドネシアルピア=0.0092円、1南アフリカランド=8.37円、1オフショア元=20.6307円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年8月12日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,546,204,933
コール・ローン等	130,834,533
公社債(評価額)	3,338,274,525
未収利息	70,657,586
前払費用	6,438,289
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A-B)	3,546,204,933
元本	1,825,954,787
次期繰越損益金	1,720,250,146
(D) 受益権総口数	1,825,954,787口
1万円当たり基準価額(C/D)	19,421円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.9421円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は2,051,061,768円、期中追加設定元本額は1,406,163円、期中一部解約元本額は226,513,144円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

新興国債オープン(毎月決算型)(愛称 アトラス(毎月決算型))	1,797,818,769円
新興国債オープン(1年決算型)(愛称 アトラス(1年決算型))	28,136,018円

○損益の状況 (2024年8月14日~2025年8月12日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	270,498,102
受取利息	270,497,304
その他収益金	798
(B) 有価証券売買損益	118,176,318
売買益	228,300,351
売買損	△ 110,124,033
(C) その他費用等	△ 2,015,501
(D) 当期損益金(A+B+C)	386,658,919
(E) 前期繰越損益金	1,512,405,268
(F) 追加信託差損益金	1,170,487
(G) 解約差損益金	△ 179,984,528
(H) 計(D+E+F+G)	1,720,250,146
次期繰越損益金(H)	1,720,250,146

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈お知らせ〉

・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の記載変更を行いました。(実施日:2025年4月1日)